

第92回

健康のススメ

板 東 浩

日本サッカー、北京オリンピックに出場決定!おめでとう、よかった。近年、次第に強くなり世界レベルに近づいてきたように思う。

さて、国際的には、サッカー(soccer)よりもフットボール(football)という呼称が使われている。以前から不思議に感じていたので、少々調べてみることに。フットボールの中にサッ

カーとラグビー、アメリカンフットボールが属する。本来、手も使い主に足で玉を扱うフットボールだった。同協会(association)からsocを抜き出しsoccerと。ラグビーは、英国で試合中に高校生がボールを手を持ち走ったのが由来というが、史実の順序より創作した話かも。いずれもフットワークが重要だ。

ところで、ボールルーム(ballroom)とは何を指すのか、ご存じだろうか。舞踏室のことである。当

時、日本に舞踏室が存在せず、同ダンスが「社交ダンス」と訳された。そのため、ソーシャルは日本だけで通じる言葉だ。フットワークとは、足のどの部分を床につけるか、という意味。つま先(toe)や踵(heel)、母指球(ball of the foot)に、どう体重をかけるのかがポイントだ。中級者がトウ立ちできる

のは、モダンシューズの靴底に硬さと弾力性があるから。

私が大学生のとき、社交ダンスを学んだ。すると、3拍子のリズムを身体で感じピアノ演奏にもプラス。体重移動がスムーズとなり、野球の打撃や守備にも役立ったのを思い出す。

今回、ふと思いついて調べてみた。日本サッカー協会は太っ腹で、環境を整えレベルを上げた。ふと巻きのお米パワーとソフトな頭脳で、ハードなシュートを期待したい。(医学博士、内科医師)

「いろんなボール」